

いにしえのおもむき

美馬の奇町



しばし歴史散策

美馬市の歴史をひもとくと、この地方が古代より文化の先進地であったとうかがい知ることができます。奈良時代にはいち早く仏教が伝わり、四国でも最も早い時期に本格的寺院が建てられました。遙か昔から、人々が安全で平穏な生活を、御仏に祈ってきた悠久の時間が流れる「寺町」。静寂の中にも凜とした空気を感じながら寺から寺へ、しばし歴史の散策を。



安楽寺 浄土真宗

鎌倉時代に天台宗の真如寺（平安時代頃建立）に東国から来た千葉彦太郎常重が入寺し、浄土真宗の安楽寺に改めたと伝えられている。歴代守護の庇護のもとに勢力を拡大、最盛期には四国各地に八十余の末寺を有した。国登録有形文化財の丹塗りの二重門（江戸時代中期）、本堂（昭和初期）、鐘楼（明治時代）、書院（大正時代）と平成8年に設けられた能舞台がある。
☎0883-63-2015



林照寺 浄土真宗

室町時代に安楽寺第八代住職願証の弟の林証が開基したと伝えられている。総檜造の向唐門の山門から境内に入ると銀杏の大木があり、秋には銀杏が寺院建築に映える。また、毎年11月上旬頃には半世紀近い歴史を持つ菊花展が開催される。
☎0883-63-2155



西教寺 浄土真宗

江戸時代初期に安楽寺十代住職正宗の隠居寺として建立されたと伝えられている。安楽寺と同様の格式を持ち、阿波や讃岐に十ヵ寺の末寺を有した。国登録有形文化財である本堂（江戸時代末）、薬医門（江戸時代末）、経蔵（昭和初期）があり、境内の石庭は古い姿を残す寺院建築と調和し良好な景観を形成している。
☎0883-63-2067



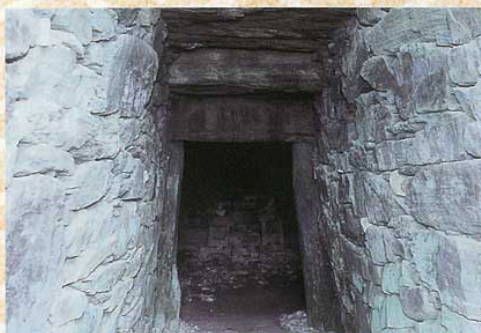
常念寺 浄土真宗

元は快楽山蓮華院という天台宗寺院であったが、室町時代に浄土真宗に改宗し常念寺となり、安土桃山時代に安楽寺十代住職正宗の嫡男其宗が入寺し再興したと伝えられている。境内には、山門、本堂、書院、庫裡などが建ち並び、江戸時代末に建てられた本堂は境内の木々と調和し趣のある佇まいを見せている。
☎0883-63-2125



郡里廃寺跡 国指定史跡

約1300年前の奈良時代初期に建てられた県内最古の寺院跡。奈良斑鳩の法隆寺と左右逆の法起寺式伽藍配置で、約100m四方の広大な寺域を有する。この地方を支配した豪族の氏寺として建立されたもので、古代の美馬の繁栄を今に伝えている。塔基壇上には当時の礎石が見られ、寺域の中心には樹齢700年ともいわれる銀杏の巨樹がある。



段の塚穴 国指定史跡

段の塚穴は、約1400年前の古墳時代に築かれた東の太鼓塚古墳、西の棚塚古墳の2つの古墳の総称である。この古墳の横穴式石室は、内部をドーム状とする特異な構造であり、全国でもこの周辺でしかみることができない。太鼓塚古墳の横穴式石室は県内最大規模であり、当時の豪族の勢力を今に伝えている。



願勝寺 真言宗

平安時代、崇徳上皇に仕えた阿波の内侍が上皇の菩提を弔うため都に建てた願勝寺を、母の生国の阿波の維摩寺（奈良時代建立）に移し願勝寺となる。その後、歴代守護や藩主の庇護を受け郡内を代表する寺院となる。国登録有形文化財である八脚門（明治時代）、天竜寺と同一手法の滝組の県指定名勝「願勝寺庭園」（室町時代）、県内最古の博物館「美馬郷土博物館」がある。
☎0883-63-2118

寺町周辺マップ

- 至美馬IC
- 至三好市
- 至美馬橋
- 至美馬中央橋
- 至輪町
- 県道12号線
- 市民グラウンド
- 郵便局
- P
- 段の塚穴
- 常念寺
- 郡里廃寺跡
- 西教寺
- 安楽寺
- 林照寺
- 願勝寺
- 美馬郷土博物館
- なんまつの丘
- 寺町公園
- 郡里小学校
- 438



- ・JR貞光駅から美馬市営バス寺町下車(約10分)
- ・美馬ICより車で約5分、脇町うだつの町並みより15分
- ・寺町公園なんまつの丘駐車場に30台駐車可

- 美馬市經濟部商工觀光課
〒777-8577 徳島県美馬市穴吹町穴吹字九反地5 / TEL.0883-52-2644 / FAX.0883-52-1704
- 美馬市教育委員会生涯学習課
〒771-2195 徳島県美馬市美馬町字天神121 / TEL.0883-63-2177 / FAX.0883-63-5554
- 美馬市観光協会
〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町92 / TEL.0883-53-8599 / FAX.0883-53-0961
- 寺町案内人(安楽寺)
TEL.0883-63-2015